



國弘秀之
(チャレンジはんだ)



生活保護事業

問 生活保護受給世帯における外国籍市民の世帯数と人数を教えてください。

半田市における生活保護の受給世帯571世帯の内、外国籍市民の世帯は29世帯あり外国籍市民4,850人中、46人です。

問 外国籍市民の生活保護における財政負担はどの程度ですか。

支給した額の4分の3は国が、残りの4分の1は市が負担することになっていきます。半田市では、令和5年度、外国籍市民に対し、約8,800万円を支出していますが、半田市の実質的な負担額は、その4分の1となる約2,200万円です。



問 生活保護を受給している外国籍市民に対する就労支援はどのように行われていますか。

65歳未満で病気などがなく就労可能な受給者に対してはケースワーカーがハローワークと連携した就労支援を行っています。

問 国の通知に基づき外国籍市民にも生活保護を適用している訳を教えてください。

生活保護は日本国民を対象とした法律であり、外国籍市民はその対象外となっていますが、外国籍市民の内一定の在留資格を有する世帯から申請があった場合は国の通知等に基づき生活保護法に準じた生活保護を行う措置として実施することとなっています。



鈴木英華
(創造みらい半田)



半田市における都市公園のあり方

問 魅力ある公園のためのPark+PFIの活用について教えてください。

都市公園の中でも規模が大きく、民間事業者による土地利用の余地があり、民間事業者の参画意欲の高い七本木池公園を最初の候補として選定しました。その他の公園については、今回の成果を検証しながら、実施できる公園を見極めていきます。今後もPark+PFI手法を有効に活用していくことで、魅力ある公園づくりに努めていきます。

問 雁宿公園の北エリアについて閑散とした印象がありますが、見解について教えてください。

子どもや大人が遊びやす

ポーツを楽しむ活動的な印象を与える南エリアに対して、北エリアは豊かな自然を感じながら、散策を楽しみ、和み、憩うことに重点を置いた閑静なエリアであることが魅力であると考えています。「静」と「動」二つの魅力を合わせ持つ公園として、もっと効果的に情報発信し、価値を再認識してもらうことで利用促進に努めていきます。

問 北エリア小動物園の未利用スペースをどのように有効活用していきますか。

動物を展示している都市公園は近隣市町では珍しいため、今ある施設を有効に活用し、多くの方々から親しみと愛着をもっていただける公園となるようにします。



小出義一
(志民ネット)



畜産臭気は成功事例を取り入れ改善を急げ

問 畜産臭気の苦情があまりありますが、どのように対処していますか。

定点観測を定期的に実施し、測定値が基準を超える施設には、適切な対応を求めています。

問 畜産臭気は、市民生活に悪影響を及ぼしていると考えますが、いかがですか。

畜産臭気が住環境や定住促進には、マイナスイメージとなっていると認識しています。

問 長野県安曇野市では、好気性発酵の促進と施設改善等で、臭気抑制に成果を上げています。成功事例を参考に、対策を行ってはいかがですか。

三重県いなべ市で、土壌有機物の活用で臭気抑制している事例があり、この事例を参考にしたいと考えています。

問 得られた知見をどのように活かしていきますか。

半田市酪農組合と相談し、畜産農家と緒に取組んでもらえるよう進めたいと考えています。

問 家畜ふん尿は堆肥として活用できますが、半田周辺は田畑の耕作面積が少ないです。行政として、円滑な耕畜連携の仕組みづくりも、行うべきではありませんか。

堆肥が円滑に流通すれば畜産の臭気軽減につながります。半田市としても関係機関と調整などの役割を果たしていきます。

